



鹿児島大隅芋焼酎ラウンド報告

2017年12月3日(日)、昨年につき2回目の開催となる「鹿児島大隅芋焼酎ラウンド」が行われました。

今年度は、他県からの参加者は1名と少なかったものの、大学関係者・現職教員・学部生等22名の参加を頂きました。学部生は、まだ教育実習に行っていない3年生以下の学生も大勢参加し、中には大学に入学したばかりの1年生の姿もありました。「アリとキリギリス」でしょうか。学ぼうとする若い力に頼もしさを感じるラウンドとなりました。

1. これからの体育授業に向けて

桐蔭横浜大学の佐藤先生より、生涯スポーツの観点からどのような態度を身につけるべきなのかという話題からスタートしました。予想される未来において必要と思われるものと発育発達の段階に応じて身につくであろうものの両面から、人間形成から見た体育の授業の価値について熱い議論がなされました。

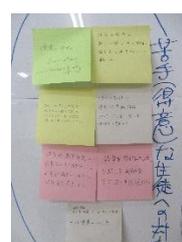


2. 態度の指導とは？

午後からは、ワークショップ形式で態度の指導内容を概念知・方法知・具体知から迫りました。

「公正」「参画」「協力」「安全」のキーワードをグループごとに選び、領域を決めて議論して行きました。

日頃何気なく行っている指導が整理できたり、指導の必要性を確認できたりできて、充実した時間となりました。



3. おわりに

急な日程変更と鹿屋市のPTA主催のミニバレーボール大会と重なったこともあり、昨年より参加者が少なくなりました。しかしながら、前夜祭には、鹿児島県の体育・保健体育を引っ張ってくださっている常連の先生方にも参加頂きました。来年も開催予定です。是非、熱い熱い鹿児島大隅に足をお運びください！

よろしくお願いします。



(文責：岡山・楸)